

2回戦

11年春季リーグ
第7週・5月19日
0勝2敗

岡に続き、空振り三振した白崎浩



3試合連続零封負け



5回、遊ゴロの間に本塁に突入したが、憤死した柴田

またも投手陣援護できず

「今日はお手上げ」。試合後最初に小椋正博監督が発した言葉だった。この一言が今日の試合全てを物語っていた。
5回1死3塁の状態をつくるが下川知弥(市1)

ない成績。投手陣は投手陣に対して「粘ってくれ

断たれ、最下位の

駒大	0	0	0	0	0	0
亜大	0	0	0	2	x	2

[駒大]	打安点
④小林	4 1 0
⑧嘉数駿	4 1 0
⑥岡	4 0 0
⑤白崎浩	4 1 0
DH福山	1 1 0
RD柴田	1 0 0
②戸柱	2 0 0
③下川	2 0 0
3増本	1 0 0
⑦江越	3 0 0
⑨中谷	3 1 0
計	29 5 0

▽二塁打=福山

回	打安責
●井口	7 1/3 29 6 2
白崎勇	2/3 3 1 0

打てない打線…



6回1死満塁の場面でフルカウントから見逃し三振した岡

優勝への道、閉ざされる

1戦目を落とし、優勝のためには負けることが許されない試合。5回と6回にチャンスを作るが、あと1本が出ず完封負け。8回に井口拓皓(経3)とリリーフ登板した白崎勇(営4)が、相手打線に捕まり2失点。「復帰後即優勝」の目標達成はならなかった。

3試合連続の完封負け。国学院大2回戦から打線が機能しなくなつた。3試合で放った安打は計9本。チームでの打率最高成績は白崎浩だが、東都大学野球リーグでは19位と決して高くない成績。投手陣は投手陣に対して「粘ってくれ

打線に対しては「(無得点だが)一生懸命やった結果だから、仕方がない。僕が完封すればいいだけ」と仲間をねぎら

可能性が残っているが(※5月19日時点)、主将の岡は「悪い流れで終わりたくない。もう一度チームを立て直す」と前を見据えている。国学院大3回戦に向け、投打が噛み合い全力で勝利をもぎ取るだけだ。

写真 山田遼太郎、野木聡介、丸山翔太、文 堀江あゆみ



粘投した先発・井口

東洋大VS国学院大の3回戦で 国学院大が敗れたため 駒大の1部残留が決定しました!